

- 1 「…そっか。」
- 2 「…うん、そうだよね、今君に言われてやっと冷静になった。」
- 3 「普通に考えたらありえないよね、6年生の、将来がかかっている時期に…学校だって退学になっちゃうかもしれないのに…」
- 4 「…うん、そうだね、アカウントも消す、今消したら大事にはならないと思う。」
- 5 「…メッセージのやりとりも消しておこ、それとしばらくは怪しまれると思うから二人っきりで会うのも今日が最後。」
- 6 「…うん、ごめんね、君にこんな当たり前のことを決断してもらったなんて…」
- 7 「……ねえ。」
- 8 「……ううん、やっぱりなんでもない。」
- 9 「…今日はもう帰ろっか、私、先にでるね。」
- 10 「…うん、今一緒にいたら君まで怪しまれちゃうから。」
- 11 【歩くSE】
- 12 「んっ、んんっ…」
- 13 へ中距離 正面へ
- 14 「…それじゃあね。」
- 15 「…ばいばい。」

16 【ドアが閉まるSE】

17 【エピソード】

18 【卒業式っぽいSE、風とか木とか、無難に】

19 「…あつ。」

20 「…久しぶり、卒業、おめでとう。」

21 「…そうだね、こうして話すのは屋上以来かも。」

22 「…あつ、まって、私も報告があるんだ。」

23 「私、春から東京に行くの。」

24 「大学が都内でね…だから最後にお別れの挨拶みたいな感じ。」

25 「…ううん、就職に有利ってお母さんが言ったから、それだけ。」

26 「入学したら資格の勉強もしないといけないから、引き続き勉強も頑張らなきゃって感じ。」

27 「…それで、君が言いたかったことって…」

28 「…ううん、いいの、わかって釘を刺したから。」

29 「…謝らないで、君は正しいことをしたんだよ。」

30 「だから私も、これからは正しく生きるの、ほんとにそれだけ。」

31 「…私、呼ばれてるからそろそろいくね。」

32 「卒業しても元気だね、それじゃあ、ばいばい。」

33 【環境SEフェードアウトしておしまふ】